



エスリークHP

田邊 智子 院長

大阪府豊中市  
田辺耳鼻咽喉科

★エスリークを使用して

リンパや身体の血流や気を流すのに最適なジェルですね。当院は耳鼻科で耳周辺の症状と身体全体の流れも漢方医学的に診ています。「エスリーク」をつけることでリンパの流れがよくなり、耳の後ろから頸部周辺にほとんどの患者さんに使っています。耳鳴り、めまいの人は耳や側頭部・頭皮・頸部が硬いので、主に頸と耳と頭皮それから側頭部に塗りこんでいます。

★セルフケアの指導に

自宅できるセルフケアとして、当院が推奨しているのは「耳ひっぱり 耳つぼマッサージ」です。耳からのリンパの流し方の方法を説明した紙をお渡しして、耳のセルフケアを指導しています。このセルフケアをする時に「エスリーク」を使ってやる効果的です。「毎日家で自分のケアしてくださいね。」と指導する時に「エスリーク」を推奨しています。「エスリーク」を使うと効率が凄く良くなります。自分自身も肩がこったりした時や色々な部位に使っています。



田邊先生おすすめ  
耳ひっぱり  
耳つぼマッサージ

プロフィール

- 日本耳鼻咽喉科学会専門医
- 日本耳鼻咽喉科学会補聴器相談医
- 身体障害者認定医(聴覚)
- 日本耳鼻咽喉科学会
- 日本東洋医学会
- 日本聴覚医学会
- 日本テレセラピー研究会



1. 耳介を親指と中指ではさんで持って、上から下へ、外へ軽く引っ張りながら緩める。
2. 耳介の出っ張り部分を上から下へ優しくさする。耳介の上の窪み、神門を人差し指で軽く回しながら押す。
3. 耳介の外側を上から下へ、外に軽く引っ張りながら、さする。
4. 耳の穴に人差し指を入れ、くるくると回し、前後に軽く押す。
5. 耳下部から首筋へ、上から下へさする。
6. 耳介の5cm上を手の指先でさする。頭皮が緩む。各々5~6回が1クールです。日に2~3回しましょう。これをする事で元気になると思います。

齋藤 さやか 院長

岩手県北上市  
さやかクリニック

★エスリークを使用して

身体全体の流れが良くなります。  
塗ったあとは、サラサラになってとにかく気持ちいいんです！

★どのようなシーンで使っていただいていますか？

疲れた時や肌トラブル時に使用しています。  
基礎化粧品の一つとしてお肌に合う方には、化粧品として使っていただいています。  
エスリークは全身どこでも塗っていいので気になる場所、ハリヤコリにもすごくいいです。



プロフィール

平成12年3月 秋田大学医学部医学科卒業、秋田大学医学部付属病院産婦人科 市立秋田総合病院産婦人科 東北大学病院産婦人科、岩手県立北上病院産婦人科、総合花巻病院産婦人科など勤務後 さやかクリニックを開業。  
心と体、一方だけを診察するのではなく、両方の関係に目を向け、ひとり一人に合わせた、無理のない診療を行うことが重要と考え、こころとからだの声を聴きバランスを整えていく治療を行っている。



エスリークのお勧めコメント

身体も心も楽になるジェルです。ご自身の身体のケアとともにゆったりと、リラックスした気持ちでエスリークを塗ることで、心のケアもできるので、セルフケアとしておススメです。エスリークは使ってトラブルが増えると言わない安全な物なので、お子様からご年配の方まで幅広い方におススメできます。

佐々木 綾 院長

京都府京都市  
AYAウイメンズクリニック

★エスリークを使用して

知人の先生より、腹部術後の創部ケアに「エスリーク」を勧めていたとお聞きし、実際に先生のクリニックで術後10年経過した患者さんの創部を触診させてもらった際、その意味がよく分かり、当院でもおススメしています。

★どのようなシーンで使っていただいていますか？

帝王切開や婦人科術後の方を中心に、ご自宅でセルフケアの一環として術痕の上に積極的に塗って頂いており、実際に傷の周囲や奥の部分が柔らかくなり、お腹の動きが良くなってきたとの声も。下腿の浮腫みやちょっとした筋緊張に、即効性があるので、継続して使われています。一番大切なのは、自己治癒力の高い体造りに必要な新しい習慣です。ご自宅でのセルフケアをお伝えさせて頂く際に、「エスリーク」も一緒に使って頂く事で、セルフケアの効果が持続でき、患者さんのお気持ちに添えることができるので、リピートして購入になっていると感じています。



プロフィール

身内の病気をきっかけに自然療法に触れ、人の自己治癒力を身近で一緒に体感した幼少期を過ごす。一度自身も過労で体調を崩した経験から本当の意味での心身の健康の捉え方が変わり、ヨガ・食事・呼吸法やヒーリング・氣功・音叉療法・bodyメンテナンスなどから自身でも自分を満たす事を模索し始め、改めてホリスティック医療に興味を持ち始める。手術・救急医療・お産の経験や、西洋・東洋医学や自然療法などを柔軟に捉える事で、病気を治す事がゴールではなく、女性一人一人が自分の生きる喜びを感じやすくなる体創りのサポートを行っている。



エスリークのお勧めコメント

一番は手術痕のアフターケアに使って頂く事かなと思います。当院は産科医院と連携しているのですが、嘔みしめ食いしばりが全身症状へ与える影響を診断項目に取り入れています。肩甲骨や胸鎖乳突筋など嘔み締め、デコルテが凝っている方、施術した後にいい状態を保持して頂ける様に、ご自身で「エスリーク」を塗ってもらっていてかなり好評です。



エスリークHP

平野 薫 院長

福岡県北九州市  
ひらの整形外科クリニック

★エスリークの使用感はいかがですか？

感触はとてもよく、感謝しています。寒い日などによく下肢(ふくらはぎや足部)が吊っていたのですが、エスリークを塗ると楽になっていました。今はエスリークと筋リリースを組み合わせると吊らなくなりました。毎朝顔のむくみを取るために使っていますが、すぐにスッキリしますね。

★どのようなシーンで使っていただいていますか？

筋肉の疲労、こわばり、引き締めやむくみにとても効果を感じています。  
皮膚に湿疹があっても使えますし、(むしろ皮膚も良くなる)副交感神経を高めて免疫力も上がりますので「魔法のジェル」と呼んであらゆる症状におすすめています。

★セルフケアの指導に。

身体の声聞いて、疲れているところ、重だるいところ、硬くなっているところ、むくんでいるところなどに、身体が欲している時に使うように指導しています。スポーツ選手には運動後の筋疲労回復やストレッチの際に勧めています。



プロフィール

1961年京都市生まれA型。  
昭和62年九州大学医学部卒業、同整形外科教室入局。  
平成4年九州大学医学部臨床大学院卒業。  
広島赤十字・原爆病院やJR九州病院での研修を終え、平成8年製鉄記念八幡病院勤務。整形外科主任医長、リハビリテーション科部長を経て平成22年4月 ひらの整形外科クリニック/プライマリーケアセンター真心開院。  
整形外科の枠にとらわれず人間全体を診る統合医学を探究、実践している。



エスリークのお勧めコメント

化学薬品が含まれず、身体と細胞にやさしい、まさに「魔法のジェル」です。患者さんにとって必ず症状改善のお役にたてるものであると実感しています。是非おすすめいたします！

岸本 武 院長

大阪府豊中市  
岸本クリニック(皮膚科アレルギー科)

エスリークのお勧めコメント

「イリス エスリーク」の開発者の方とは知り合いでそのブレンドの方法が非常に深く繊細なので、身体にすごくいいのが納得できます。実際に私自身が愛用してその良さを患者さんに案内しているって感じですね。

肌のケアに何を使ってもわからないんです。そういう方にエネルギーテストで相性が良ければ、エスリークを使ってはと勧めています。エスリークの使いはじめは海藻成分の加減だと思いますが、ちょっとツツパリ感があるけれど、つけていくと馴染むんです。それでも気になる人にはローズ&ジャスミン(エッセンシャルオイル)を混ぜて使ってもらうように案内しています。皮膚だけでなく毛髪にも良いです。エスリークは市販していないし同じようなものほどこも作れないんですよ。宝石のパワーや漢方エッセンスのバランスが良いと思います。経皮吸収されやすく、エネルギーバランスが整い「神秘的なパワーがはいっているんだ」という感じです。



プロフィール

医学博士 日本皮膚科学会認定専門医、米国催眠療法協会認定ヒプノセラピスト、国際催眠連盟認定ヒプノセラピスト、日本皮膚科学会、日本東洋医学会、日本ホリスティック医学協会、ドイツ振動医学推進協会、日本テレセラピー研究会、日本珪素医学学会等



「心身一如」という考えのもと、皮膚は内なる反映と考え、西洋医学と東洋医学の両方の良き所を取り入れた診療をされています。皮膚疾患の治療を通じ、よりよく年を重ねる「ヘルシーエイジング」の手助け、とともに「未病(みびょう)＝まだ病気にはなっていないが、健康であるとも言えない状態」の治療にも積極的に取り組んでおられます。

鄭 栄植 院長

大阪府高槻市  
チヨンクリニック(認知症外来・消化器内科・乳腺外科)

エスリークのお勧めコメント

知り合いの先生から、体がほぐれてむくみや疲れが取れるすごいジェルがあるって教えてもらったんです。聞いた時は半信半疑でしたが、ゴルフの練習する前にちょっと塗ってみたくて。塗った後に素振りをしたら安定してるのをはっきり感じたんです。さらに立っている人を横に押ししたり引いたりする軸の検査、いわゆる体のバランスをみる検査を、エスリークを塗る前と後にやってみたくて。そして塗った後しっかり軸がとれるので、すごいと感じましたね。

当院のスタッフは立ち仕事なので、夕方になると疲れたりむくみが出るようなので、エスリークをつけてもらってたんです。そうすると「全然足がむくまへん」「疲れが違う」とすぐに感じたようで介護のスタッフも使い出しました。それだけいいのだったらということで、クリニックで「エスリーク」の取り扱いを始めました。

診察の時には、お腹を手術している人や乳がんで胸を手術している人の手術後の痕で硬くなっている部分があるんですが、そこに使い出したら結構緩和してくれるんですよ。その後ホームケアで続けてやるように指導して携帯ポトルを買ってもらいます。継続したい方がポンプポトル(200ml)を購入いただくようになり始めたところです。

他には足がつるとい方には当院では漢方薬を処方するんですが、根本的に筋肉が固くなっていて骨に癒着して筋肉の可動域が少なくなっている状態ではなかなか解消するのは難しかったです。

腱や筋肉が骨と癒着しなくていい部分に癒着があるところなどが引っ張り合っておかしくなるので、癒着があるところにエスリークを塗りながらはがしていく治療に使います。

寝る前にも、すねとふくらはぎの間に指を入れるようにしながら内側と外側両方にエスリークを塗り込みながら浮かすようにはがすように指導して使ってもらって確かに足がつることがなくなるので、足がつるといって人にオススメしています。



プロフィール

1965年4月15日吹田市生まれのO型。  
平成5年大阪医科大学を卒業、と同時に同付属病院一般・消化器外科教室に入局。  
同大学付属病院一般・消化器外科、麻酔科や胸部外科だけでなく三島救命救急センターやドイツウルム大学付属病院外科などで研修を重ね、平成7年4月から済生会吹田病院外科医員、平成11年からは大阪医科大学大学院に進学し学位取得。  
平成13年10月から北摂総合病院外科に勤務、一般・消化器外科医長、乳腺外科部長を経て平成20年9月1日よりチヨンクリニック院長として地域医療に従事している。

